

# 確定申告の準備をしましょう

税務課町民税係 【☎028(677)6013】

## ◇2月16日(月)から確定申告が始まります◇

確定申告に向けて、次の準備をお願いします。

- ・営業や農業などの収入や経費の計算
  - ・医療費控除を行う場合、医療費の集計
  - ・源泉徴収票や支払証明書、医療費の領収書など、申告に必要な書類の整理
  - ・住宅借入金特別控除を受ける場合、必要書類の用意  
(登記事項証明書、借入金年末残高証明書、住民票、契約書の写しなど)
- 受付時間や待ち時間の短縮のため、ご協力をお願いします。

◆注意◆ 申告相談の日程などについては、2月号の広報はがでお知らせします。  
個人あてには通知を郵送しませんのでご了承ください。

## 内容によっては、税務署での申告が必要になります。

### ◆原則、税務署での申告になるもの◆

- 青色申告
- 事業(営業)所得の申告
- 譲渡所得(土地・建物・株式)に関する申告
- 株式(配当・譲渡)に関する申告
- 繰越損失がある場合の申告
- 生命保険満期金の申告
- 給与収入が2,000万円を超える場合の申告
- 平成26年分以外(過年度)の申告
- 亡くなられた人の申告
- 先物取引や投資信託に関する申告
- 相続税・贈与税・消費税の申告
- 平成27年1月1日現在、芳賀町に住民登録がない人  
(税務署または1月1日現在の住所地で申告してください)



## 社会保険料(国民年金保険料)控除を受ける場合は控除証明書が必要です

日本年金機構から送付される「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」の詳細や再発行については、控除証明書専用ダイヤルへお問い合わせください。

- 受付期間/3月16日(月)まで ※土・日・祝、1月1日～3日は除く(ただし、第2土曜日のみ受付します)
- 受付時間/月～金9:00～19:00、第2土曜日9:00～17:00
- 控除証明書専用ダイヤル/一般の固定電話・携帯電話から【☎0570(058)555】  
IP電話などから 【☎03(6700)1144】

## 公的年金等受給者に係る確定申告不要制度 真岡税務署個人課税部門【☎0285(82)2116】

平成23年分以後の各年分において、公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下であり、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税の確定申告は必要ありません。

※所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。また、所得税の還付を受ける場合や、確定申告書の提出が要件となっている控除(例えば、純損失の繰越控除など)の適用を受ける場合には、確定申告書の提出が必要となります。

# LRT整備事業報告 第3弾

企画課企画財政係【☎028(677)6012】

宇都宮市と共同で進めているLRT(次世代型路面電車システム)の整備事業についてお知らせします。

今回説明する内容は、昨年の広報はが10月号および7月から9月に実施した地区座談会における説明資料などからの抜粋です。



▲LRT整備後のイメージ

## ▶芳賀町がLRTを導入する効果と目的

### ①芳賀工業団地・芳賀高根沢工業団地の利便性および魅力の向上

新たな通勤手段を確保し、工業団地へのアクセスが便利になります。さらに、企業の価値を高め、長期的に安定した税収を確保できるようになります。

### ②輸送能力の向上

LRTを中心とした新たな公共交通ネットワーク網により、交通手段の選択肢が拡大します。そして、既存の道路交通と合わせ輸送能力が2倍以上になり、渋滞緩和につながります。

### ③新しい街づくりの基盤

トランジットセンター(停留場)と路線バス、デマンド交通などと連結します。これにより、高齢者や交通弱者の交通手段を確保し、通勤や通学、通院などの利便性が向上します。さらに、定住促進による人口減少対策、二酸化炭素削減による環境負荷を軽減することができます。

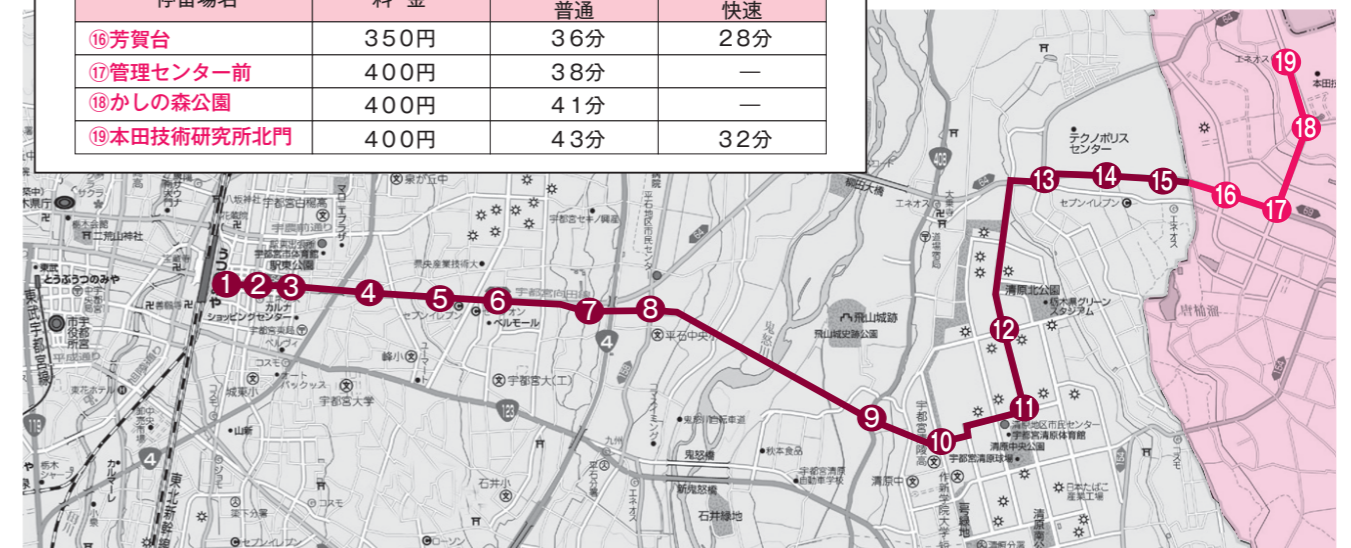
※町内2つの工業団地から得られる町税は、町税全体の6割から7割で、平成25年度の決算では25億5千万円です。そのため、今回の計画では、芳賀高根沢工業団地までのルートを整備します。

## ▶導入ルートおよび料金と時間

芳賀町内の導入ルートは、宇都宮テクノポリスから本田技術研究所北門までの約3キロメートルです。4つの停留場を設ける方針で関係機関と協議しています。また、料金や運行時間は、表の案で検討しています。

### 料金と運行時間(JR宇都宮東口から芳賀町内の停留場まで)

停留場名	料金	時間	
		普通	快速
⑬芳賀台	350円	36分	28分
⑭管理センター前	400円	38分	—
⑮かしの森公園	400円	41分	—
⑯本田技術研究所北門	400円	43分	32分



## ▶概算事業費と財源負担のイメージ

現在の宇都宮市との整備計画では、軌道部分の整備に約46億円、車両や車両基地の共通設備負担金4億から24億の事業費がかかることが想定されています。芳賀町分の負担は、12億円から18億円になる見込みです。

事業費用は、国からの補助金が半分、残りの半分を地元が負担しますが、県に支援の要望をしているところです。芳賀町は負担分を借り入れる予定で、返済期間は20年間、1年間の返済額は6,000万円から9,000万円と予想しています。